

令和 7年度予算見積調書

課室名：河川環境課

担当名：ダム管理担当

内線：5116

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P48	河川改修調査費（水辺）			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修調査費	
事業期間	昭和39年度～	根拠法令	河川法第9条			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	6, 15
						分野施策	0103 治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	6-4, 6-6, 15-1
1 事業概要 本県の中川・綾瀬川流域等の河川は水源がなく、冬場は水量が減少するため、水質を維持するためには冬期通水による水量確保が不可欠である。 そこで、国等と連携して冬期試験通水の効果測定調査を実施する。 河川の環境改善 9,277千円				5 事業説明 (1) 事業内容 河川の水環境実態調査 (2) 事業計画 8河川（19地点）で水質等の調査を行う。 (3) 事業効果 水環境の実態（流量、水質等）を把握することで、冬期試験通水の効果を確認する。 【活動指標（アウトプット）】冬期における河川水質の維持 【成果指標（アウトカム）】冬期用水の権利の復活 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 該当する市・土地改良区と連携し、国への要望を行う。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人＝950千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	9,277							9,277	0
前年額	9,277							9,277	

事業内訳書

事業名	河川改修調査費（水辺）		
単位事業名	河川の環境改善	予算額	9,277千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	9,277	0	
合計	9,277	0	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	9,277	0	河川の水環境実態調査
合計	9,277	0	